

第10回日展

第2科（洋画） 審査所感

審査主任 小 灘 一 紀

第10回日展の審査は伝統ある日展の良さを見い出す作品を選定しようと、審査員一同真剣に取り組みました。その結果、優劣つけがたい作品が多く昨年より入選者はややふえました。残念なのは、技術は高いが題材が類型的で個性を感じる作品が少なかったことです。カメラの映像を通した作品が多く、自然から受けた感動を伝える作品がもっとあれば良いと思いました。

又、芸術は魂の表現であり、自己の魂を表現するために悪戦苦闘して絵画表現をする作家がもっと欲しいものです。

特選10点は伝統的な表現の作品と未完で欠点もありますが新しい自己表現を模索している作品を選びました。

外部審査員の篠雅廣先生と土方明司先生には審査中、貴重な御意見をいただき、大変感謝しております。

搬入数 1,463 点
入選数 590 点
(内新入選) 58 点